

# Campus Today



## 第118回 歯科医師国家試験 新卒合格率 90.7%の好成績

松本歯科大学歯科医師国家試験  
新卒合格率 5年連続 90%以上

第118回 (本年度)	90.7%
第117回	90.2%
第116回	93.1%
第115回	90.4%
第114回	95.4%

3月27日(木)、学校法人松本歯科大学第213回理事会・第153回評議員会において、新年度の役職教員が満場一致で承認された。

今回の人事では、歯学部長に中村浩彰教授(総合歯科医学研究所硬組織疾患制御再建学部門)、図書館長に黒岩昭弘教授(理工学講座)、衛生学院長に金銅英二教授が就任した。

新役職教員を核とし、全学一致で歯学教育の充実とさらなる本学発展に務めていく。

### 役職教員



過去6年の新卒平均合格率は全国第2位!

実力を発揮し毎年安定した好成績おさめる

厚生労働省は3月14日(金)、第118回歯科医師国家試験の合格者を発表した。本学の新卒受験者54名中49名が合格(90.7%)、新卒合格率で5年連続の90%以上の好成績となった。歯科情報サイト最大手のWHITE CROSSは「近年の歯科医師国家試験の成績は、東京歯科大学と松本歯科大学が安定して高い合格率を維持している」と報じている。

松本歯科大学の過去5年の平均合格率91.98%、過去3年の平均合格率91.38%とともに、全国歯学部全29校で第2位である。この結果は、本学の教育システム・カリキュラムの永年にわたる改革が奏効した結果と考えられる。

第118回歯科医師国家試験総出願者数は3431名であったが、実際の総受験者数は昨年より78名少ない3039名であった。新卒の未受験者は337名であり、昇、既卒の合格率も5.1%上昇した。

減少傾向にはあるが、各大学において受験者は依然厳しく絞られている状況にある。

総合格者数は昨年より76名多い2136名となり、既卒・新卒を含めた全体の平均合格率は、70.3%(昨年より4.2%上昇)、国立・公立大学は79.9%、私立大学は67.2%であった。全体合格率が70%を超えたのは12年ぶりである。新卒者の合格率は2.4%上昇、既卒の合格率も5.1%上昇した。

新卒者の学校別合格率において90%を超えたのは、100%の大阪歯科大学を筆頭に13校であった。

また、今回誕生した新人歯科医師において、女性歯科医師が占める割合は、47.8%となり、約2名に1名が女性歯科医師となっている。

厚生労働省歯科医師国家試験制度改善検討部会による諮問により、一昨年116回歯科医師国家試験から、令和5年版の新しい出題基準からの問題出題となった。合格基準は、必修、領域A(総論)(一般問題100題)、領域B(各論)(一般問題80題)と臨床実地問題80題に設定改定

されている。今回の歯科医師国家試験は全般的に難易度が増した。そのため、必修問題中5問を含む合計17問の採点除外などの取り扱いがなされた(昨年は9問)。合格基準は領域A 59.8%、領域B 65%、必修80%となり、領域Aの合格基準が4%下降した。

来年の119回からはXXTAタイプ(すべて選べ)出題形式の一般問題と臨床実地問題は廃止される。これは、受験生への心理的負担が強く、受験者の能力を適切に評価する方法とは言えないと考えられたためである。

本学の建学の理念に基づき頼られる歯科医療人および研究者の育成のためには、歯科医師国家試験の合格は単なる通過点ではないことは言うまでもない。今後、教職員と学生が協同して歩む6年間の教育・研究・診療体制の整備が必須であり、益々の発展に期待がかかる。



合格祈願鉛筆を、一人ひとりに手渡す、樋口大輔病院長

# もし東京に

## 「金のトランプ像」が建ったら

内閣官房参与  
松本歯科大学常務理事  
特命教授 飯島 勲

今月号は「プレジデント」4月4日号「リーダーの掟 飯島勲」より、「米ウ首脳会談でまさかの激しい口論」と、「トランプが投稿したAI動画」についての記事を要約して紹介します。

米国のドナルド・トランプ大統領の外交に世界中が注目している。石破茂首相はトランプ大統領との首脳会談を無難に乗り切ったが、2月28日に行われたウクライナのゼレンスキー大統領との会談は、報道陣の前で激しい口論となった。その結果、米国がウクライナへの支援を続ける条件と見られていた鉱物資源の権益をめぐる合意文書への署名も見送られ、停戦交渉も暗雲が立ち込めている状態だ。

米国の負担が大きい支援に消極的なトランプ大統領は、早期の停戦という結果を求めてウクライナの頭越しにロシアとの交渉を進める一方、ゼレンスキー大統領が求めるNATOへの加盟など停戦後の「安全の保障」については否定的で、会談前から両者の対立は深まり、ウクライナの平和は遠のいてしまった。急がなければ両国ともに犠牲者が増える。ウクライナを助けるための提案という米側の主張も理解できる。

23年10月、ガザ地区で「事件」が起きた。これまでもイスラエルはたびたびガザ地区を攻撃し、ハマスはテロで対抗という状況が続いていた。学校や病院も攻撃され、多数の民間人が犠牲になる様子を見るのはいたたまれない思いだった。そんな中で登場したのが、「イスラエル寄り」を公言するトランプ大統領だ。あつという間にハマスとの停戦合意にこぎつけた。さすがの行動力だと思ったが、何か引かかるとはなかった。ガザ地区を米国が所有して再建するのだという。住民はサウジアラビア、ヨルダン、エジプトなど近隣のアラブ諸国に移住させた上で、破壊された建物を撤去して更地にし、リゾート地として再開発するというプランは、不動産王のトランプ大統領らしい発想だが、現地のパレ



生成AI作成によるトランプ像

スチナ人の気持ちはどうなるのか。報道によれば、サウジアラビアなどはすぐに「国際法違反では」との疑問も出されているとされている。そしてその後、ガザ地区については、イスラエル人の人質解放と、イスラエルに収監されていたパレスチナ人の釈放のニュースがときどき伝えられるだけで大きな動きはなかったが、2月下旬になって、トランプ大統領は自らのSNSに生成AIで作成したガザ地区の「復興計画」の動画を投稿した。動画は「ガザ2025」のタイトルから始まり、黄金のトランプ像が建てられた街で子どもたちが遊び、街の土産物店には黄金のトランプグッズが並ぶ。プールサイドには水着姿でくつろぐトランプ大統領とネタニヤフ首相もいるといった具合だ。トランプ大統領は何のためにこの動画を公開したのだろうか。パレスチナの平和な未来のために、何らかの戦略があればよいのだが、単なるアピールだとしても悲しい。かの地では、子どもを含め、約4万8000人が亡くなっているのだ。日本に置き換えてみると、戦後に焼け野原になった東京で、復興支援の名の下に米国大統領の金ぴかの銅像が建てられ、日本の文化を無視したリゾートホテルが立ち並ぶとしたら、どう思うだろうか。強制的な移住は、パレスチナの人々にとって特に辛いことだと思う。当初は元の住民であるパレスチナ人の共存も模索されたが、パレスチナ人は住む場所を奪われ続けている。

### 創立者の「視点」



大学誌編集主幹  
特任教授 笠原 浩

梅毒の話に意外なほど反響がありましたので、今回はエイズを取り上げてみることにします。この病気が最初に知られたのは、1981年にアメリカ西海岸で複数の若い男性が重い肺炎になり、その原因がカリニ原虫というきわめて病原性が低い微生物だったことで、奇妙なことだとして、症例報告されたのです。ところが、同様な症例が男性同性愛者、ヘロインなどの麻薬使用者などの間に次々に出現するようになり、死亡例も生じてしまいました。医学者らの研究の結果、これは新種のウイルスが免疫機構の中核となるT細胞を破壊してしまつたために、患者は後天性免疫不全症となり、さまざまな病原体（通常では発病しないような病原体の弱いものでも「日和見感染」としてしまつ）の感染や悪性腫瘍の発生に対する抵抗力が失われて発病から死に至ることが明らかにされました。

### 全身疾患と口腔 その3 エイズ①

この病気が男性同性愛者に限られた病気、キリスト教では厳禁されている行為に対する一種の天罰だと考へるような人が少なくはなかったのです。女性の罹患者が少なかったのは、直腸の単層円柱上皮よりも生殖器や口腔の重層扁平上皮はしっかりと丈夫だったというだけで、乱暴な行為で傷が生じれば感染するのが当然です。ところが、その翌年に松本の浅間温泉に滞在していたフィリピン人女性が感染者であることが伝えられた時には、観光客の足が途絶えたり、他府県で松本ナンバーの車が立ち寄りを断ら生じてしまいました。さらに次の年には、神戸で水商売の日本人女性が死亡し、多くの男性が検査に押しかけるという事態が発生しました。エイズは日本でも感染が広がり始めたのです。

## 告知 第25回「観桜会」 多彩な催しを企画 4月29日(祝)に開催

1995年に始まり、毎年恒例となっている「観桜会」が、今年も4月29日(火・祝)の午前10時から開催される。今年で25回目を迎えるこの観桜会は、松本歯科大学の広大なキャンパス内に咲き誇る約1000本の桜を背景に、さまざまな催しが展開される春の一大イベントである。特に、淡い紅色や薄黄緑色の八重桜が美しく咲き誇り、その可憐な姿が来場者の目を惹きつける。訪れる人びとは、春



満開の桜を楽しむ家族連れ

中庭では、伝統的な箏の音色が響くなか、野立てが催され、訪れた人々は桜を眺めながら上品なお茶を味わえる。また、病院前には数多くの屋台が立ち並び、地元ならではのグルメを堪能できるほか、子どもたちに人気のミニSLが走り、家族連れにも楽しめる内容が充実している。さらに、病院駐車場では輸入車の展示会が開かれ、最新の高級車や軽キャンピングカー、電動スクーターが並ぶ。車好きにとっては見逃せないイベントとなっている。



歯科矯正の相談に応じる中根 助助教

一方、病院内では、「唾液によるお口の健康診断」が実施され、「りっぷるくん」による、唇の閉鎖力測定、矯正治療の紹介や医師、歯科医師、臨床検査技師によるセミナーも予定されている。健康に関心のある人にとって、貴重な情報を得られる場となる。また、病院ラウンジでは、焼き菓子やクラフトビールなど、地元で愛される名品が販売されるほか、本館1階ラウンジには休憩コーナーが設けられ、軽食を楽しみながらくつろぐことができる。

午後2時から、本学体育館にて「桜コンサート」が開催される。このコンサートでは、世界的に活躍する指揮者・西本智実さん(本学名誉教授)が率いるイルミネーションフィルによる壮大なオーケストラ公演が行われ、華やかな音楽が会場を包み込む。さらに、特別プログラムとして、ソプラノ歌手・山原さくらさんが登場し、その美しい歌声が春の空気とともに響き渡る。満開の桜とともに、心に残る特別な時間を楽しむことができる。また、観桜会と並行して、学生たちによる第38回大学祭「松濤祭」も同時開催される。大学祭は、若さと創造性にあふれた企画が満載で、学生ならではの視点で作られたさまざまな



来場者を魅了した西本智実さんによるオーケストラ演奏(2024年)

理事会報告

省エネ対策を引き続き推進し、コストの削減に努める

学校法人松本歯科大学の第213回理事会、第153回評議員会が3月27日(木)に開催され、2024年度の事業計画および予算案、中期計画などの案件が審議され、いずれも満場一致で承認可決した。



事業計画を説明する廣瀬事務局長

【主な会議事項】

- 1. 中期計画(2025~2029年度)案
2. 2025年度事業計画
3. 2024年度補正予算案および2025年度予算案
4. 2025年度内借入限度額の承認
会議事項1~4について詳細な説明がなされ、承認可決された。なお、2025年度事業計画の目標および概要は次のとおり。

【事業計画(目標)】

1. 歯学部

松本歯科大学(歯学部)は、1972年4月1日に開設し、本年度で54年目を迎える。歯学部は建学の理念を具現化し、人間教育全体を教育目標として、人間としての倫理に基づき「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」という教育方針をモットーに、歯科医師として社会に貢献し、歯科医学の発展に寄与できる人材育成を目指している。

①入学定員充足率の向上

- ②歯学部教育の質の保証と向上
③退学者、除籍者の低減
④標準修業年限内での卒業率の向上
⑤現役学生の歯科医師国家試験合格率の向上
⑥新管理システムの導入

2. 大学院歯学独立研究所・総合歯科医学研究所

松本歯科大学大学院歯学独立研究所は、学部の講座を主体とした研究科ではなく、総合歯科医学研究所を基盤にした独立研究科で、2002年12月19日に設置許可を受け、2003年4月1日に開設し、本年度で23年目を迎える。

3. 衛生学院

松本歯科大学衛生学院は、1976年4月に開校。1977年3月に専修学校として設置認可を受け、本年度で50年目となる。

衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授し、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。今日、人口の高齢化が進行するに伴い、老後のQOLを支える柱として、歯と口の健康の意義が再認識されるようにな

Ⅱ 病院・診療

地域医療及び本学を支える医師、歯科医師、パラメディカルスタッフを育成し、経費率意識及び自費率の向上を図る。地域医療を支え、質の高い医療の提供、県内の病院診療所と

Ⅲ 管理・運営

病院の収支改善、学生募集における募集人員の確保、それ以外

り、口腔健康管理の担い手としてその活動分野はますます広がっている。チーム医療の推進が強調されるなかで、歯科医師をはじめとする多くの職種と協働して専門性を発揮できる、質の高い歯科衛生士を送り出せるよう、教育内容の一層の充実を図っている。

①社会のニーズを踏まえた実践的な歯科衛生士の育成

- ②授業内容の改善
③新卒者の歯科衛生士国家試験の全員合格
④入学定員の確保と優秀な学生者の確保

①質の高い医療の提供

- ②人材の育成
③医療収益の向上
④病診、病病連携の強化
⑤歯科医科連携の充実
⑥地域連携の推進
⑦医科部門
⑧人材の育成
⑨医療収益の向上
⑩病診、病病連携の強化
⑪医科部門

臨床研修を終えて新たなステージへ 2024年度 臨床研修修了証書授与式

3月21日(金)午前9時より、松本歯科大学病院内の臨床研修歯科医に対する臨床研修修了証書授与式が本学創立30年記念棟常念岳の間にて行われた。

冒頭、宇田川信之歯学部長より「これからの進路は大学の職員や大学院生と大学外の就職先と、さまざま目標が違うものではあるが、この研修で培った経験を生かして、本学や歯科界のために活躍を祈願している」との御挨拶をいただいた。

「本学で学んだ基本的な歯科医療だけでなく、社会人としての基礎となるものである。そして、研修を修了できたことを音楽研修管理委員長をはじめ全ての指導医、また病院事務室のスタッフなど多くの職員にも感謝することを忘れないように」との言葉をいただいた。

外のコスト削減を基本とする。予算に基づく適正な予算執行及び予算外の支出については大学運営上必要不可欠な対応を優先させつつ、その執行にあたって十分な検討を行い引き続き効率的な管理・運営を行う。

- (1)施設・設備の維持管理
(2)省エネルギー対策
(3)図書館内、自習室に設置の情報検索用端末を優先順位をきめて交換していく。
(4)国立情報学研究所により改変された機関リポジトリの環境を軌道に乗せ、研究成果等の登録・公開がスムーズに実行できるような整備する。
(5)新規人材の確保及び、優秀な若手人材登用を進め人員体制整備を実施する。
(6)外部研究資金確保のため、分析状況を学内に周知し、研究

者の意識向上を推進して、研究費等の採択率を増加させる。(6)病院運営効率化の推進及び収益率の改善に努め、人間ドックや保険外診療の拡充により、更なる収入確保を目指す。(7)歯科医師国家試験の合格率、特待生制度についてアピールを行い、多くの受験生を獲得し、募集人員を確保する。(8)本学ホームページからの資料請求増加に対応して、ホームページの動画制作等により、コンテンツをより充実させ更なる資料請求増を目指す。(9)病院地域連携と協力して病院広報を推進し、より身近な病院作りに努める。(10)メディアを通じた大学行事の案内や研究活動等の発表に努める。(11)現行の災害危機に対応した

「防災マニュアル」の内容の点検、個別の日常的危機事象に対応する危機マニュアルの策定を行い、統合した「危機管理マニュアル」を完成させる。(12)科学研究費補助金などの公的研究費や、共同研究費などの外部資金を活用した研究環境の整備に努める。(13)学長が中心となり自己点検・評価委員会により評価結果に基づく必要な改善を推進する。(14)知的財産の管理の適切なライセンス活動に努める。(15)年間安全衛生計画に基づく安全衛生活動を実施する。(16)嘔むことを意識したカムカムメニュー関連行事を継続実施する。(17)市民公開講座を開催する。

細説明が行われた。今年度の臨床研修はこれより予定された日程を修了する運びとなった。病院における管理診療科(初診室、補綴科、保存科歯周、保存科歯内、小児歯科)の科長はじめとする指導歯科医、上級歯科医の先生方には、日々のご指導を賜り、まことにありがとうございます。

最後に、研修歯科医を代表として、中村 葵 研修歯科医から、1年間の臨床研修の指導を受けた感謝とこれからの活躍の抱負が述べられた。研修歯科医と参列者との記念撮影を行い、授与式は終了となった。

臨床研修は修了証書を、4月1日以降に厚生労働省関東信越局へ送付し、歯科医師登録と並行して臨床研修修了登録を予定している。そのため申請についても筆者ならびに病院事務課から詳



修了証書を授与された研修歯科医 22名

いきました。専門診療科ローテーションを受けていただきました口腔外科、地域連携歯科、歯科麻酔科の先生方にも短期間ではありますが、厚く御礼申し上げます。校友の先生方におかれましても、来年度も多くの知己の卒業生が本学病院臨床研修を選択して頂くように、本学臨床研修をご紹介の程、何卒宜しくお願い申し上げます。(詳細は大学HP: https://www.ndu.ac.jp/hospital/clinical\_training/program/) 質問等は、左記の連絡先へお願い申し上げます。: info.japan@ndu.ac.jp) 来年度の歯科医師臨床研修は2025年4月1日から開始されます。40名前後の歯科医師が臨床研修を行う予定です。これからも病院内外の校友の先生方のご理解ならびにご支援を宜しくお願い申し上げます。(研修管理委員会委員長(プログラム1責任者) 廣瀬 隆彦)

# 未来への期待と決意を新たに 第47期生 衛生学院卒業式



卒業証書を学院長より受け取る卒業生

春の訪れを告げる啓蒙を間近に控えた3月4日(火)、本学講堂で松本歯科大学衛生学院第

## 第38回松濤祭 活気あふれる企画が満載

第38回松濤祭が4月29日(火)祝、観覧会と同時開催されること決定した。今年の松濤祭は、松本歯科大学病院患者駐車場をメイン会場とし、活気に満ちた多彩な企画が用意されている。実行委員長には第4学年の木ノ島旺さん、副実行委員長には門司拓磨さんが就任し、開催に向けた準備が順調に進められている。学生たちの創意工夫を凝らした催しが多数予定されており、例年以上の盛り上がり

が期待される。会場内には、クラブ活動単位や1学年のクラス単位、さらには個人やグループでの出店ブースが設けられ、計14店舗が軒を連ねる予定だ。飲食ブースでは、学生たちが工夫を凝らしたオリジナルメニューが提供され、訪れた人々の舌をたまりませることだろう。また、体験型の企画も多数予定されており、来場者はさまざまなアクティビティを通じて祭りの雰囲気を感じ、存分に味わうことができる。

さらに、ステージイベントも充実している。本学の軽音楽部からは4グループが出演し、それぞれ個性あふれるライブパフォーマンスを披露する予定だ。情熱的な演奏と迫力あるパフォーマンスが、会場の熱気をいっそう高めることだろう。加えて、12時過ぎからは、上田染谷丘高校のギターマンドリン部による演奏が行われ、優雅で美しい音色が響き渡ることで、来場者に癒しのひとときを提供する。

**Guest introduction**

ぼる塾  
アイロヘッド  
Everybody  
ブレメンの音楽隊

**出店**

Opening a stall

1A ぼる塾  
1B アイロヘッド  
1C Everybody  
1D ブレメンの音楽隊

**開催場所案内地図**

タイムスケジュール

47期生の卒業式が厳かに挙行された。卒業生45名が、それぞれの未来に向けて新たな一歩を踏み出した。当日は予想外の大雪に見舞われ、式は予定より30分繰り上げての実施となったが、卒業生たちの門出を祝うかのように、降り積る雪が式典にいつそうの感慨を添えた。

式典では、矢ヶ崎 雅理事長が「国家試験も終え、あとは結果を待つのみ。いよいよ社会に飛び出す時だと卒業生を激励。働くことには義務と責任が伴い、時には忍耐が求められる。スガが設けられ、計14店舗が軒を連ねる予定だ。飲食ブースでは、学生たちが工夫を凝らしたオリジナルメニューが提供され、訪れた人々の舌をたまりませることだろう。また、体験型の企画も多数予定されており、来場者はさまざまなアクティビティを通じて祭りの雰囲気を感じ、存分に味わうことができる。

しかし、それを乗り越え、世界一の歯科衛生士を目指して欲しい」と、力強い言葉を贈った。続いて、笠原悦男学院長は「この3年間の道のりは決して平坦ではなかったはず」と学生たちの努力を称え、「苦労なくして成長はない」と語った。そして、「愛語は展開す」という仏教の教えを引用し、「人を褒め、思いやるのが、やがて自分自身

の成長へとつながる。社会に出て、その心を大切にして欲しい」と温かな言葉で送り出した。卒業証書授与では、一人ひとりの名前が担任の高山きよ江専任教員より呼ばれ、笠原学院長から証書が手渡された。卒業生からは、卒業生を代表し、岩原さんが「4月から歯科衛生士として新

たな道を歩み始めます。多くの人と出会い、経験を重ねる中で困難に直面することもありますが、その時こそ、本学での学びを思い出し、努力を続けていきます」と力強く決意を述べた。その言葉に、仲間たちも深く頷きながら、未来への期待と決意を新たにしていた。

春雪の中、卒業生たちはそれぞれの未来へ向けて歩み始めた。春休みの期間中、衛生学院歯科衛生士科の1・2年生の希望者を対象に、日本スコラ(株)が清掃アルバイトを募集し、学生たちが学校の清掃活動に励んだ。今回のアルバイトは、学生たちの熱意が詰まった松濤祭に、大きな期待が寄せられている。

**4月行事予定**

9日(水)〜11日(金) オリエンテーション (第1学年)

10日(木) 入学式 (歯学部・大学院・衛生学院)

11日(金) オリエンテーション (第2・3学年)

健康診断 (第1〜6学年)

11日(金)〜15日(火) オリエンテーション (歯学部第4年)

16日(水) 献血

23日(水) 発表会 (大学院)

29日(火) 観覧会・松濤祭

## 2024年度臨床研修歯科医症例報告会開催 活発な質疑応答が飛び交う

2月27日(木)と28日(金)の両日、松本歯科大学病院臨床研修歯科医の症例報告会が本学図書会館学生ホールにて開催されました。

初日、27日は11人の研修歯科医が、28日は12人の研修歯科医が研修成果を発表し、多くの研修歯科医からの活発な質疑応答が行われました。



研修成果を発表する研修歯科医

2日目の最初には、樋口大輔病院長から「研修歯科医は基本的なルールを遵守して研修を最後まで行って欲しい、今回の症例報告内容はまた技術習得の中途であることを自覚して、振り返りもしっかり行えることを期待している」との言葉をいただきました。

発表は、スライドによる15分程度で、研修歯科医一人ひとりが緊張しながらも、適切にその内容が聴衆に伝えられました。聴覚障害のある杉野研修歯科医も、AI音声を使用して内容と考察が適切にまとめられた発表であり、多くの質疑応答が音声

で行われていました。また、発表日の最後には、川原一郎教授(プログラムⅡ責任者)、森 啓特任教授(研修管理副委員長)から、研修内容の成果が十分に報告されたことと、これを糧として将来の歯科医師の精進に勤めていただきたことを、また最後に私から常

## 衛生学院生が活躍 春休み特別清掃

春休み期間中、衛生学院歯科衛生士科の1・2年生の希望者を対象に、日本スコラ(株)が清掃アルバイトを募集し、学生たちが学校の清掃活動に励んだ。今回のアルバイトは、学生たちの熱意が詰まった松濤祭に、大きな期待が寄せられている。

とを目的として実施された。清掃作業は、10〜15人ほどのグループで行われ、主に病院と本館の廊下のワックス剥離作業とワックス掛けを担当。作業時間は10時から15時までの5時間(うち1時間は昼休み)で、体力を使う仕事ながらも、学生たちは集中して取り組んでいた。指導を担当したのは、日本スコラ(株)の清掃責任者である生田美幸さん。生田さんは、病院清掃受託責任者の資格を持つベテランで、清掃業務のプロフェッショナルだ。モップの正しい掛け方や、汚れを効果的に落とすための力の入れ具合など、細かい技術を丁寧に指導した。

**人事異動**

〔採用〕 3月1日付  
原 千夏 (東濃診療所 歯科助手)

〔昇任〕 3月1日付  
黒岩 理恵 (東濃診療所 歯科助手)

〔配置替・兼務〕 3月1日付  
小林 良美 (兼務 放射線検査室)

〔兼務〕 3月1日付  
横井由紀子 (兼務 放射線検査室)

〔兼務〕 3月1日付  
田中 恵 (東京診療所 係長兼務)

〔兼務解任〕 3月1日付  
川原 一郎 (教授 病院 兼務を解任)

〔定年退職〕 3月31日付  
十川 紀夫 (兼務 放射線検査室)

若林 英美 (事務 入試広報室 係長)

高村 昌明 (事務 局舎 放射線検査室 補佐)

原 聖司 (事務局 衛生学院 事務室 室長)

Matsumoto Dental University SNS Information

LINE QR Code

X QR Code

Instagram QR Code

facebook QR Code